

【心筋血流シンチ】の検査を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 放射線科で以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	心筋シンチグラフィ検査のマスク先行法における至適パラメータの検討
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2025年11月30日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者 診療放射線科 上野 凌
【対象となる方】	西暦2025年1月1日から2025年3月31日に【検査科】にて【心筋血流シンチグラフィ検査】を受けた方26名 【選択基準】 検査時に両上肢を挙上できた患者 【除外基準】 ペースメーカー埋め込み術を行っている患者
【研究の意義、目的、方法】	心筋血流シンチグラフィ検査は心臓に集まる薬品を使用して検査します。しかし、心臓に近い胃にも集積するため、胃に集まった薬品が心臓の評価の妨げになる現象が散見されていました。近年、胃の影響を低減させる解析方法が開発されましたが画質向上のため最適な解析のパラメータを決定する必要があります。そこで今回、心筋血流シンチを受けられた患者様のデータを使用させていただき、最適な解析のパラメータを見つけるための検討を行います。 研究の方法は、すでに検査を受けられた患者様のデータを用い、解析のパラメータを変更した画像を作成します。得られた

	様々なパラメータの画像と、同一患者で従来使用している画像を比較し、最適なパラメータを決定します。
【利用する情報の種類】	診断用画像(核医学検査)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：放射線科 上野 凌 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331 (代表)